

ずばりここが聞きたい 村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

▶南阿蘇村議会3月定例会

一般質問の様子を動画でご覧いただけます。
下記のQRコードをご覧ください。

※動画をご覧になる場合、
通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境
での視聴を推奨します。



一般質問

—— ここが聞きたい ずばり村政を問う!

河内 克也議員

村長の政治姿勢(公約、財政面)は?

河内議員

私は一般質問を重要視、太田村長と議場で堂々と議論することを大事にしていく。村長の政治姿勢をお聞きする。

- ①掲げた7つの公約をどう具現化していくのか。
- ②当面は厳しい財政運営が見込まれるが、行財政改革をどのように進める方針か。
- ③ふるさと納税の本年度実績と、稼ぐ村へ変ぼうするための基本的考え方は。

オール南阿蘇で取組み着実に実現!

村 長

選挙戦で7つの公約を約束した。当然私一人ではできないのではなく、オール南阿蘇で取り組みたい。

- ①公約ごとに職員プロジェクトチームを作り、また公約ごとに多くのアイデアを出していただくためにワークショップを開催する。事業内容の取りまとめは課長会議や新たに立ち上げ予定の議員との政策懇談会(仮称)でつくり、村総合計画にも反映させたい。
- ②財政が厳しい状況であることに強い危機感を持っている。自由に使える財源が不足している状態。財政再建はまず財政計画を作成し、5年後の健全化を図りたい。歳入は起債に頼るのではなく、積極的に国・県の補助金を活用し、ふるさと納税獲得に力をいれ自主財源増額に努める。歳出は一律削減ではなく、事業の費用対効果や村民にとっての必要性や満足度を勘案し整理していく。村の借金起債残高を減らしながら、必要な事業は実施していく。
- ③納税本年度実績は4億500万円(2月末現在)。公約2年で10億、4年で20億円の高い目標を掲げ、村にもう一つの財布をつくる。稼ぐ村への変ぼうは、抜本的に返礼品・運営委託先等の見直し、有識者の助言取り入れ、

特命職員の配置も必要。併せてSNSを活用、村の明るいニュース等発信し村のPRを行う。また成功自治体事例等、納税倍増施策を学び、取組んでいく。

村の防火、延焼対策は?

河内議員

岩手県大船渡市の山火事等、想定外の大規模火災や住宅火災が多く発生している。消火活動の基本となる消防水利等の施設整備・点検等、本村の状況を検証する必要がある。

- ①新しい住宅地等、防火水槽の整備状況と設置要望時の対応は。
- ②防火水槽、消火栓の定期点検と家庭の消火器設置、更新の啓発は行われているのか。
- ③住宅密集、耕作放棄・荒廃地増で以前より類焼、延焼の危険性が高まっている。村の延焼対策は。

各火災に対応できる体制を整えていく

村 長

- ①新しい住宅地等の防火水槽整備は要望に応じ対応しており、土地と水の無償提供の条件が整えば、区長から申請後、年間2か所設置する計画。また水利のない住宅地は必要に応じ、消防団と状況確認等、住民説明会を実施し、予防消防に努めている。
- ②定期点検は、毎年消防団で実施し、修繕等が必要な場合は、その都度対応。消火器は基本的に各家庭での設置・更新が原則であるが、消火器設置をPRしていく。
- ③消防団で延焼防止研修、大規模山林火災の実働訓練を実施。近年は山林火災に有効な装備として資機材搬入車4台導入し、500ℓタンクで水利のない場所でも40～60分程度消火活動が可能となった。

河内議員

防火水槽設置希望があっても、用地確保が難しい等問題があり、行政が村民の安全を担保するためにも一步踏み込んで対応していただきたい。埋設水槽が路盤沈下で給水が出来ない箇所がある。早急な修理等、対応すべきだ。

村長、総務課長

修繕が必要な施設は確認し、消防担当には村民に寄り添う活動をするよう指導したい。